

# 競技注意事項

1. この大会に適用する規則は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則である。
2. 練習場について
  - ① 練習は本競技場にて行う。5日、6日は9：00以降多目的グラウンド、公園内を使用のこと。（室内の練習場は雨天時のみ）
  - ② 投てき練習は、競技前に競技場内で行うこと。（多目的グラウンドでの練習は禁止）

## 本競技場の使用について

○ジョギングはレーンの外側を使用すること。

○レーンの使用は下記に従うこと。

- ・ 1, 2レーン→ジョギングを除く長距離の周回練習
- ・ 1～3コーナーの3, 4, 5レーン→流し（4コーナーは使用禁止）
- ・ 2コーナーの6, 7, 8レーン→リレーのバトン練習（4コーナーは使用禁止）
- ・ 3コーナーの7, 8レーン→リレーのバトン練習（4コーナーは使用禁止）
- ・ 1, 3コーナーの5, 6レーン→スタート練習

（5日）

- ・ 4コーナー3, 4, 5, 6レーン→スタートの練習
- ・ 4コーナー7, 8レーン→ハードルの練習

（6日）

- ・ 4コーナー5, 6, 7, 8レーン→スタートの練習

3. 招集時間について
  - ① トラック競技開始時間の30分前受付開始、20分前集合、15分前完了。
  - ② フィールド競技開始時間の40分前受付開始、30分前集合、25分前完了。（ただし、棒高跳は50分前受付開始、40分前集合、35分前完了）
  - ③ 棄権する選手は所定の用紙に記入のうえ、選手係にとどけること。
4. 招集方法について
  - ① 招集場所に設置された所定の用紙（1枚）の自己ナンバーカード番号を○でかこみ、第一コールを終り招集完了時間の5分前に招集所で待機する。（○印は係で用意してある赤鉛筆使用のこと）  
但し、他種目と兼ねて出場するものは、招集係及び審判員に申出て競技の進行に支障のないようにする。
  - ② 招集完了時間に競技者係はナンバーカード番号及び結着状態を確認して最終コールを完了する。完了後競技者係の指示、誘導に従う。  
出場者以外の招集所への立入及び代人による招集は認めない。  
但し、事情があるときの届出のための代人の立入は認める。
  - ③ 招集におくれたものは棄権とみなして出場を認めない。
5. 注意事項
  - ① 選手の変更は認めない。
  - ② リレーのオーダーは予選、決勝とも競技開始時刻の60分前に招集所に提出すること。  
用紙は監督会議で配布する（小学生と一般の部は受付で配布する）。リレーのオーダーを本部に申告後、負傷等により交代を必要する場合は発生した際は、招集開始前までに医務員の確認のもとに選手の交代ができる。但し、オーダー順の変更は許されない。
  - ③ アスリートビブスは主催者の用意したものを折り曲げずに胸背につける。中学生は、アスリートビブスを折り曲げずに胸背につける。跳躍種目の場合は、胸または背だけでよい。3000m以上の距離に出場する中学生は、背にアスリートビブスを付け、胸には腰ゼッケンと同じ番号を付ける。アスリートビブスのない競技者は出場を認めない。
  - ④ 競技用具棒高跳用ポール以外はすべて競技場備品を使用する。
    - ・ 棒高跳用ポールは跳躍審判員が検査する。
    - ・ 投てき競技者はサポーター使用許可希望者の検査は競技場で投擲審判員より行う。

⑤ 抗議について

文書（用紙は総務席に用意する）に 10,000 円を預託して審判長に提出する。正式通告後 30 分以内、次のラウンドが行われる競技では、その結果が正式通告されてから 15 分以内に申し出がなければ問題は起きなかったものと見做される。

⑥ 本部前の通行は禁止する。

⑦ 400mまでのトラック種目については、フィニッシュ後も割り当てられたレーンを走って減速すること。

⑧ 競技中、またはフィニッシュ時においては、ガッツポーズ等の行為を慎むこと。（状況によっては、走路妨害とされることもある）

⑨ スパイクシューズのピンの長さは、全天候舗装であるため、ピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とし、スパイクピンの先端の直径は4mm以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

⑩ トラック競技において、1回目から不正スタートした競技者は失格とする。

⑪ スタート合図は電子音とする。

⑫ スタート時における不適切行為（TR16.5）発生時は、責任ある競技者に対し注意を与える。それでもなお、不適切行為に該当する行為により注意を受けた競技者については、当該種目において失格とすることがある。

⑬ 競技用靴については、WAシューズ規定を適用する。

⑭ リレー競技のマーカー使用については競技規則を適用し、大きさが50mm×400mm以内の粘着性のテープ1カ所の使用を認める。マーカーは各校で用意して、使用後はそのチームで処理すること。

⑮ 競技規則TR 6により、競技場内での助力は禁止とする。録画映像を確認する場合は、競技者から視聴可能なコーチングエリア内とする。ただし、メインスタンドから動画を撮影した端末の受け渡しはできない。

6. 中学校走高跳、棒高跳のバーのあげ方（中学校）

走高跳	男	1 m 30 ~ (5 cm)	1 m 60.	65.	68	以上 3 cm ずつあげる。
	女	1 m 15 ~ (5 cm)	1 m 35.	40.	43	〃
棒高跳		2 m 00 ~ (10 cm)	2 m 40.	50.	60	以上 10 cm ずつあげる。

7. 競技の抽選、及び番組編成について

○ タイムによる上位ラウンド進出者の決定は、記録の上位の者を優先し、100分の1秒まで同記録の場合は、写真判定員が1000分の1秒まで見て優劣を付ける。ただし、それでも決定できない場合は抽選して決める。

8. 小学生の部について

① スタートについて

- ・ 5年、6年 100 mは、クラウチングスタートとする。（スターティングブロックは使用しなくてもよい。）
- ・ 全種目、同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、その競技者を失格とする。

② 80m ハードルは下表の規格で行う。

高さ	台数	スタートから第1ハードル	インターバル	最終ハードルからゴール
70 cm	9 台	13 m	7 m	11 m

※砲丸投		
男	~ 50 未満	7.26 kg
	50 ~ 60 未満	6.00 kg
	60 ~ 70 未満	5.00 kg
	70 ~	4.00 kg
-----		
女	~ 50 未満	4.00 kg
	50 ~	2.72 kg

③ 走幅跳は3回試技とする。

④ WAシューズ規定（上記5⑬）は適用しない。